

## 金森誠之君を想う

内 海 清 温

金森誠之君は明治 25 年 7 月 27 日 和歌山県有田郡に生れ、大正 4 年 3 月 東京帝国大学工学部土木工学科を卒業後ただちに内務省東京土木出張所に奉職し、昭和 2 年 1 月には早くも工学博士の学位を授与せられ又昭和 4 年には約 1 年間に亘り欧米各国の土木事業を視察された。その後昭和 12 年に仙台土木出張所長、昭和 15 年には下関土木出張所長の要職に栄進せられ終始君の抜群の創意と識見を実行してわが国土木技術の上に偉大な業績を残され更に昭和 17 年退官された後も金森研究所を創設しみづからその所長として引続き土木技術の総合的研究に精進せられ幾多の斬新な工法を發表して技術の進歩改善に貢献する処、真に多大なものがあった。

他方土木学会に於ては昭和 9、10 年度の常議員、昭和 13、14 年度の東北支部商議員、昭和 15 年度の東北支部長、昭和 17 年度の西部支部長を歴任せられ学会の運営に指導的役割を果されたのである。

君が土木技術の啓蒙昂上に示された絶大な成果は一にかかつて君の秀逸なる性格のしからしめる処であつた。

時代に先行する異常な創造力と強い信念により、是と信ずる処は万難を排して実行するのが君の性格であつた。先輩は君の正論を支持し後輩は君の温情流れる指導に敬愛の念をもつて従つた。かくして君の天才的創意による種々の計画或は工法は着々と実現してその数は枚挙に暇なく広く全国の各所に君の輝かしい功績をしのばせている。今やわが国の土木界は君の卓越した着想にまつ処益々多き時にあたり不幸突如として病魔のおかす処となり昭和 34 年 8 月 19 日光輝ある生涯を終えられたことは真に惜みても余りある次第である。

ここに衷心より哀悼の意を表し君の冥福を祈る（原文のまま掲載）。

（正員 元会長 日本建設機械化協会会長）



## 金森誠之君を弔う

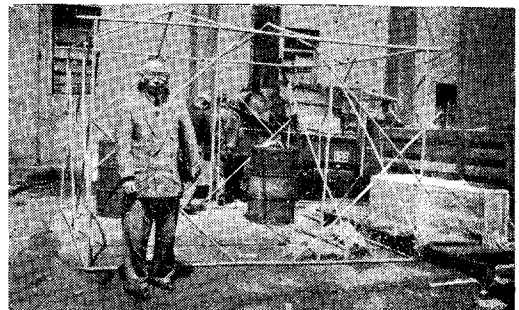
金 子 源 一 郎

同窓の畏友金森誠之君には忽然他界された。君は大正 4 年 東京帝国大学土木工学科を卒業直ちに内務省土木局に入り、東京土木出張所勤務を振り出しに、仙台土木出張所長、次で下関土木出張所長に任ぜられ、大河川、国道、港湾の直轄事業を始め、国土総合開発事業等、昭和 17 年退官される迄、我国土木界に残された功績と、土木技術の進展に寄与されたことは洵に多大なるものがあった。退官後は金森研究所を開設し、技術の総合的応用、斬新技術の研究に、力を注がれた。その応用の一例をとれば、河川は非常時に備へるものであり、治水に支障を及ぼさぬ様考慮を払ふことは勿論であるが、平時に於ては、緑地空地に乏しい大都市周辺の河川敷は須く都民のリクリエーションの場に活用すべきであるとして、進で其の利用を計画した如きである。今日国際競艇水路として使はれて居る戸田橋コースは君の着想に基づくものである。

君は常に先頭を行く人であつた。学位を得られたのも 30 代であつたと思ふ。発明特許を得た数は 100 を越すと聞て居る。過去を振り返るよりも、前方を見て突き進む人であつた。専門の技術に於ても、趣味に於ても、常に人に数歩を先じられた。旧慣にとらわれず、不軌奔放、天

馬空を行く如くに見へながら、決してつぼを外れず、法を越へず、人と交るに真情溢れ、然諾を重じ、真に畏敬すべき友人であり、希に見る技術界の鬼才であり、平素至極頑健、同級生中でも活力の最も旺盛の方であり将来益々君の活躍が期待されたのに惜みても余りある。御家庭は六人の子福者であり、皆夫々立派に一家を為し社会の要路に居られ、お孫さんは既に 15 人を数へられる。君の残された事績は世を益し、君の開拓された技術は後進を導き、君の御遺族は比類少い程の御繁栄である。君の英霊以て冥すべく、謹で御冥福を祈る（原文のまま掲載）。

（正員 首都圏整備委員会委員）



# 測量実務叢書全10巻

東大教授 工学博士 安芸 皎一 監修  
 [A 5判・上製函入・9ホ横組]  
 各 220頁前後・予価各 350円程度

技術革新時代にふさわしい測量実務解決への鍵!! 内容見本呈

★ 第1回配本 第6巻 好評発売中!!

## 写真測量

建設省地理調査所・建設技官 尾崎 幸男 著

1級図化機ステレオプラネグラフC8についての著者の数年間に亘る経験を基に、写真測量の理論と実際技術を余すところなく、適確な表現で平易・懇切に解説した実務指導書。

〔内容〕序論、写真測量の基礎、空中写真の撮影、現地作業、判読、簡単な空中写真測量、偏位修正、モザイク、実体空中写真測量、特殊な写真測量、地上写真測量、写真測量の精度と能率、写真測量の応用 [A 5・p. 220. ¥ 350]

工博 春日屋伸昌 林 一幹 共著

測量便覧 B 6・P 892  
 ¥ 1300 円 70

工博 春日屋伸昌 著

集成測量表 B 6・P 720  
 ¥ 1000 円 60

測量実務叢書全巻購読の方々には「集成測量表」を定価の半額で提供致します。

- ◆ 学識・経験豊かな権威を動員した執筆陣!
- ◆ 最新の器械・技術の解明による新知識の啓蒙!
- ◆ 材料の取扱法、測量方法、データの計算法、結果の整理、作図等を一連的に記載!

第2回配本 第5巻 9月下旬

## 三角測量・天文測量

建設省地理調査所・建設技官 原口 昇 著  
 東北大学助教授 今野 彦貞

第3回配本 第1巻 11月

## 測量計算法

信州大学教授・工学博士 谷本勉之助 著

・以下毎月1冊ずつ刊行致します

2. 測量法解説 3. トラバース測量 4. 水準・平板・スタジオ測量 7. 路線測量 8. 地形測量、地図編集 9. 河川・海岸・港湾測量 10. 農林・鉱山・トンネル測量

## 森北出版株式会社

東京都千代田区神田小川町3の10  
 振替東京 34757 電 (29) 2616・4510・3068

# コンクリート講習会テキスト

(昭和 34 年 8 月京都市において開催のもの)

B・5判 124 ページ

定価 150 円 円 20 円

(内 容)

1. セメント概論..... 田中 太郎
2. コンクリート概論..... 岡田 清
3. コンクリートの配合..... 明石外世樹
4. ダムコンクリートの施工における問題点..... 関 慎 吾
5. 舗装工種の選定について..... 谷藤 正三
6. セメント系材料による路盤路床の安定処理工法... 田中淳七郎
7. コンクリート舗装の急速施工..... 井上 孝
8. 新しいコンクリート舗装..... 近藤 泰夫
9. PC橋ゲタの工業標準規格化について..... 田原 保二
10. 鉄筋コンクリート床板橋と斜板橋について..... 成岡 昌夫